

いじめアンケート（4月実施）の結果について

- 1 調査期間 令和2年4月6日～令和2年6月4日
- 2 調査対象 本校在籍生徒599名（回答数578名）
- 3 調査方法
 - （1）アンケートは内容の秘匿性・重要性を鑑み、原則として一斉調査は行わず、履修登録時に手渡し、自宅にて回答、郵送による提出とした。
 - （2）アンケートは追跡調査の必要性から、記名式とした。
 - （3）「いじめ」を受けた時期は限定せずに、これまでに受けたかどうかを調査した。
- 4 調査結果 いじめ認知 0件
ただし、小学生・中学生の時にいじめを受けた経験がある生徒が95名（全体の16%）いたため、必要と思われる21名の生徒には面談を実施した。面談の結果、過去のいじめが要因で登校できないなどの悩みを抱えている生徒はおらず、本校入学後は穏やかに学校生活を送っているとのことであった。
- 5 今後の方針 生徒が安心して学校生活を送れるようにするため、気兼ねなく相談できる体制（教員・スクールカウンセラーによる教育相談等）が整っていることの周知徹底を図るとともに、「いじめは許されない行為である」ことを授業や日々の関わりの中で伝えていく。
また、今後も保護者や地域の方々の協力を得ながら、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、再発防止のための様々な取り組みを継続する。